

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グンゼスポーツクラブ京都八幡店 新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府八幡市	構造	S造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	0 人
地域区分	5地域	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 竣工	評価の実施日	2016年2月25日
敷地面積	3,625 m ²	作成者	
建築面積	1,876 m ²	確認日	2016年2月25日
延床面積	3,485 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 63%, ③上記+②以外の 63%, ④上記+ 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合

注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。
近隣建物と馴染むよう階数を2階建とし、地域の景観に合うよう配慮しました。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

Q1 室内環境

注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
各機械室には吸音材を設け、音環境に配慮し、メイン室のトレーニングジムにはトップライトを設け、明るい室内とした。

Q2 サービス性能

注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
ゆとりある階高となるよう配慮しました。

Q3 室外環境(敷地内)

注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
道路に面する部分を極力緑化するよう配慮しました。

LR1 エネルギー

注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
断熱材を適宜配置し、省エネルギー化について配慮しました。

LR2 資源・マテリアル

注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
プール・浴槽の水を循環できるように、ろ過機を設け、資源の有効利用に配慮しました。

LR3 敷地外環境

注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
駐車台数を多く設け、地域の環境に配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される